

急性期内科病棟に入院した高齢者における入院初期身体機能と 短期間の基本動作能力低下との関連に関する研究

1. 研究の対象

2015年1月7日～2月9日の期間に、
当院5階西病棟（循環器内科）または9階西病棟（糖尿病・代謝・内分泌科）に入院され、
入院中の身体機能や基本動作能力に関する評価（SPPB、BMS など）を受けられた方。

2. 研究の期間

研究倫理審査委員会承認後 ～ 2027年3月31日

3. 研究目的および意義

高齢者では、入院を契機に身体機能や日常生活動作が低下することがあり、これらは退院支援や予後に大きく影響します。

本研究では、急性期内科病棟に入院した高齢患者において、入院初期に測定された下肢機能指標（SPPB）が、その後約2週間で生じる基本動作能力（BMS）の低下を予測できるかを明らかにすることを目的としています。

これにより、入院早期の段階で基本動作能力が低下しやすい患者を予測できる可能性があり、リハビリテーションや退院支援の質向上に役立つことが期待されます。

4. 研究の方法

過去に当院で実施された研究で収集され、現在も適切に保管されている既存データ（身体機能評価・基本動作能力評価・血液検査・基本情報等）を用いて解析を行う後ろ向き観察研究です。

新たな検査・介入・試料採取を行うことはありません。

また、当時の研究記録は一部保管されていますが、研究番号や正式名称の記録が現在確認できないため、本研究では既存データの二次利用としてオプトアウト方式により実施します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

身体機能に関する情報：SPPB、握力

基本動作能力に関する情報：BMS

基礎情報：年齢、性別、身長・体重

入院時の検査値：白血球数、ヘモグロビン値、血清アルブミン、C反応性蛋白

当時の評価記録

6. 研究組織

東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科

研究責任者：江淵 貴裕

研究分担者：金丸 晶子、加藤 貴行、寺澤 泉

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分な対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒173-0015

東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

リハビリテーション科

研究責任者 江淵 貴裕

電話：03-3964-1141（平日 9:00～17:00）